

令和7年度子育てサポーター養成講座

第1回 6月19日（木） 「家庭教育支援の理解」＜領域1＞

講師：親業訓練インストラクター 波多野 ゆか 氏

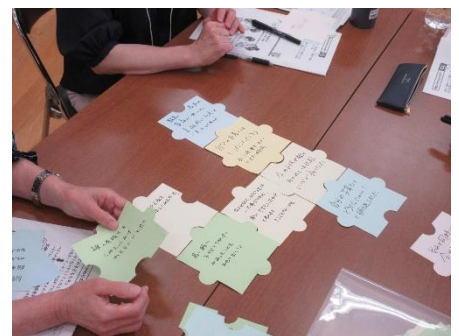


【受講者の声】※抜粋

- ・子育てサポーター養成講座について深く理解せず、何か子育ての学びをとおして社会貢献（誰かの役に立つこと）できればと軽い気持ちで参加してしまいました。自分が思うより、自分が一方向の視点でしか物事を見ていなかったことに気付くことができました。波多野先生の講義は楽しく分かりやすく、とても深く！！大変勉強になりました。
- ・先生の楽しさ含めたご講義の中で、子育てをする親子の支援だけでなく、自分の子育てにも大事であること「ていねいに聴くこと」ができていたか振り返ることもできました。貴重な時間をありがとうございました

第2回 6月27日（金） 「親子の理解とかわり方」＜領域2＞

講師：柴田町教育委員会生涯学習課 地域学校協働活動推進員 松田 ゆう子 氏



【受講者の声】※抜粋

- ・自分の子育てを振り返りつつ、関わりの視点や今置かれている親子関係、教育現場の問題を知る良い機会となりました。頭を柔軟にし、広い視野で物事を捉えられるように、子育て中の方や他の困難を抱えている方々の力になればと思います。
- ・「大変ですね」と私も日頃の業務で入口として使っていることが多く、その先をどう支えられるか、一緒に考えてあげる言葉を合わせて使っていこうと思いました。子育てにおいても「自分の理想」というところに共感できました。
- ・あっという間で、まだまだお話を聞きたい、グループワークをやりたいと思える時間でした。自分と重ねてしまうことが多々ある中、今からでもできることなど、また一歩ずつ進めたいと思いました。



【受講者の声】※抜粋

- ・社会的背景が変わり、父親の子育てへの関わりがとても重要になる。父親も母親も子育ては手探り。正解はなく、親も子も自分らしく生きることができる手伝いができればと改めて思いました。
- ・母親目線のみではなく、父親目線の育児を知る機会が少なかったため、今回受講しました。お父さんたちから相談を受ける時に心掛けたいです。
- ・父親の育児が「授乳以外なら何でもできる」ということについて、具体的に一覧表にさせていただき、「選択肢」の提供していただきたいと思います。ぜひ、産婦人科や役場の子育て支援係さん、保育所や幼稚園で配布していただけたら、お父さんたちのヒントになると思います。